

甘さ増します雪下野菜



最上エコポリス通信

— mogami ecopolis tsushin —

2022年2月号

山形県最上総合支庁 隔月発行
最新情報はツイッターでご覧ください



最上地区青少年育成懇談会

～大人と生徒の対話会～

12月11日に児童・生徒と地域の大人の対話会を兼ねて最上地区青少年育成懇談会が新庄市民プラザで開催されました。

当日は、管内高等学校生徒会代表と市町村ボランティアサークルの高校生、青少年育成団体代表者45名が出席し、「今、私が考える幸せとは？」をテーマに3グループに分かれて最後まで熱心な意見交換が行われました。コロナ禍により自粛生活や新しい生活様式が求められている中、幸せについて価値観を共有し、改めて幸せに暮らすことの意味を問い直す機会となりました。後段では、「笑顔と優しさが溢れている最上地域で当たり前で隠れた幸せに気づこう」等の地域を明るく・元気にするメッセージをまとめ、発信しました。
[子ども家庭支援課 29-1221]



(主) 真室川鮭川線栗谷沢橋供用開始について

永らく完成が望まれていた栗谷沢橋が完成し、12月4日に平山副知事や県関係国会議員の祝辞の後で、多くの地元の方が笑顔で渡り初めを行い、供用を開始しました。

(真室川町 川ノ内 地内)

今冬から、旧橋の解体工事や未改良区間の道路改良工事を順次行ってまいります。

[道路計画課 29-1401]



進路を考える学習会～めざせ医療・介護のしごと～開催！ @大蔵小学校！！

最上地域の医療・介護分野の人材確保を図るため、管内の小学校高学年や中学生を対象に、将来の職業として医療・介護の仕事に関心を持っていただけるよう「進路を考える学習会～めざせ医療・介護のしごと～」を開催しています。

今年度第7回目として、12月21日に大蔵小学校6年生を対象に、県立新庄病院、寿屋薬局、特別養護老人ホーム翠明荘から講師をお迎えして開催しました。講師からは、仕事の内容とともにこの仕事を選んだ理由や魅力などについて講演していただいた後、各ブースに分かれて体験学習を行いました。子どもたちは、聴診器体験、お薬処方の作業体験、とろみ食作成体験、衣服の着脱介助体験など、興味深く取り組み、医療・介護への関心が高まったようです。[保健企画課 29-1257]



お薬処方の作業

新庄・最上ジモト大学「高校生とともにある地域・未来フォーラム」を開催！



1月23日に新庄・最上ジモト大学「高校生とともにある地域・未来フォーラム」を開催しました。コロナ禍によりオンラインでの開催となりましたが、高校生や地域の大人約80名に参加いただきました。

フォーラムは3部構成で実施され、第1部ではジモト大学の取り組み紹介、第2部では地域の大人と高校生が1対1で対話するトークフォークダンス、第3部では地域で活動する高校生等に活動状況などを発表してもらい、高校生と地域の大人との対話を通し、互いに交流を深めることができました。

参加者からは、「今自分がやっている活動が色々な形で地域の役に立ち、より良い未来に繋がっているということを知り活動に自信を持つことができた。」「とても充実した時間を過ごすことができたし、いろんな方と話すことによって視野を広げることができた。」などの声がありました。

今回のフォーラムを通じて、地域での学びの土壌や高校生と地域とのつながりが着実に広がっていることを実感することができました。

[連携支援室 29-1239]



地元で働く魅力 を知ろう！

しごとトーク

地元の様々な職場で働く先輩から、仕事のやりがいや新庄・最上での暮らしなどをお聞きする特別授業を、12月16日に新庄北高校最上校、1月20日に新庄神室産業高校真室川校で開催しました。先輩の高校時代の話や今の仕事に就いたきっかけなど、お手製の“紙芝居”を使った楽しく・分かりやすいお話に対し、生徒の皆さんは真剣に耳を傾けていました。

生徒からは「高校時代にやっておいて良かったことは何か。」「一番やりがいを感ずるときはどんな時か。」といった質問が出され、皆さんから実体験を交えながら丁寧にお答えいただきました。

今年度は、管内すべての高校で「しごとトーク」を開催することができました。ご協力いただきました高校・企業の皆様、ありがとうございました。

来年度も引き続き、地元企業の魅力発信、若者定着に取り組んでまいります。

★新庄北高最上校のゲスト★ (株)キリウ山形:菅孝明さん/株小川建設:小川勇介さん
(株)MGM:小川真美さん/特別養護老人ホーム紅梅荘:伊藤瞳さん

★新庄神室産業高真室川校のゲスト★ 永井建設(株):阿部彩花さん・伊藤宗大さん
あべ農場(株):阿部和夫さん/いきいきランドぼんぼ館:鈴木英策さん

★新庄北高最上校★



★新庄神室産業高真室川校★



[地域産業経済課 29-1309]

乳幼児を救うための救命救急講習を開催！

最上地域みんな子育て応援団は、12月6日、最上総合支庁講堂において普通救命講習3の研修を開催し、最上地域の子育て支援者30名が参加しました。救命講習では、最上広域市町村圏事務組合の職員の方を講師に迎え、乳幼児に対するAEDの使い方や、人工呼吸の仕方等を学びました。



実際にAEDを操作して行くうちに周りの方との連携ができ、スムーズな救命処置を行うことができました。この講習では、『救命救急処置をすること＝救命のリレーを途切れさせないこと』を実感した研修会となりました。

参加者の方からは、「実技をしてみて、わからないところを丁寧に教えて頂けてとてもわかりやすかった。」等の感想が寄せられました。

最上地域みんな子育て応援団では、今後とも関係団体と連携しながら、最上地域の子どもたちが健やかに成長できる環境づくりに取り組んでまいります。
[子ども家庭支援課 29-1245]

子どもの視点と保育のあり方

最上地域みんなで子育て応援団は、1月19日に子育て支援者向け研修会を開催しました。山形大学の^{もとしま ゆうこ}本島優子准教授を講師にお迎えし、「保育者と子どもとの関わりを振り返る～情緒的利用可能性の視点から～」をテーマにお話を伺いました。今回は、オンラインでの開催となり、54名が参加しました。

大人が子どもに関わる時には、子どもの気持ちを読み取りながら、必要に応じて子どもをサポートしていくことが重要であることを学びました。また、様々な保育の事例を基に、保育者がどのように子どもへ接していかなければならないかを振り返り、これからの保育の現場で活かせる研修会となりました。

最上地域みんなで子育て応援団では、今後も保育関係者の資質向上に向けての研修に取り組んでまいります。

[子ども家庭支援課 29-1245]



医療的ケア児の災害時個別避難計画について研修会を開催

1月21日、最上総合支庁において、「最上地域医療的ケア児支援連絡会」を開催しました。今回は、10月末に県内で初めて行われた医療的ケア児の災害時避難訓練（山辺町）の動画を村山保健所担当者から配信していただき、その後医療的ケア児の災害対策について意見交換を行いました。

県では引き続き、医療的ケア児の支援者（主治医、訪問看護師等）や市町村（保健・福祉・防災担当）等とともに、個別避難計画の作成について取り組んでまいります。 [子ども家庭支援課 29-1361]



花き品評会で“もがみの花”が最高賞！

10月8日に開催された「やまがたフラワーフェスティバル 2021」の花き品評会で、鮭川村の熊谷和樹さんが生産したバラ（オール4ラブ）が最高賞である農林水産大臣賞を、また、農林大学校が生産したダリア（朝日てまり）が農林水産省農産局長賞を受賞しました！！

表彰式では、熊谷和樹さんから「嬉しい反面、大きな賞で恐縮してしまいました。」「これからも国産の花業界の振興のために日々精進していく。」とのコメントをいただきました。

品評会は、県内市町村から合計284点が出品され、色鮮やかで質の高い花が集まっているなか、最上地域からはバラやリンドウ、ダリア、トルコギキョウなどの8人の生産者が続々と受賞しました。

受賞された花は、どれも凛と咲いていて美しく、生産者が心を込めて栽培していることが感じられ、最上地域の花の魅力や品質の高さをアピールすることができました！

[農業振興課 29-1317]



バラ（熊谷和樹さん作）



ダリア（農林大学校作）



トルコギキョウ



りんどう



熊谷和樹さん（農林水産大臣賞）



農林大学校（農林水産省農産局長賞）

第6回最上小国川写真コンテスト 入賞作品決定!

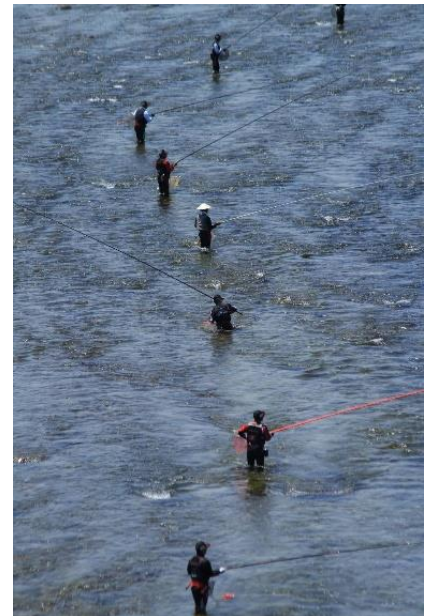
1月11日、最上小国川清流未来振興機構が主催する「最上小国川写真コンテスト」の審査委員会が最上町中央公民館で行われました。本年度で第6回となった本コンテストでは、県内外33名の方から、計85点のご応募をいただきました。

その中から見事最優秀賞に選ばれたのは、夏の風物詩である鮎釣りに興じる人々が列をなす姿を収め、最上小国川を象徴する光景を表現した、菅 清一さん（最上町）による『それぞれの想い』です。

今回は、最優秀賞作品及び優秀賞作品の5作品をご紹介します。今後もこうした活動を通して、最上小国川を未来に伝える機運の醸成に取り組んでまいります。

[連携支援室 29-1240]

★最優秀賞
『それぞれの想い』
菅 清一さん（最上町）



●優秀賞『川遊びの姉弟』
鈴木 貞治さん（天童市）



●優秀賞『紅葉映えて』
太田 稔さん（最上町）



●優秀賞『大漁を狙う』
佐竹 吉廣さん（寒河江市）



●優秀賞『楽しい水切り』
高橋 秀一さん（新庄市）



「第2回『東北のへそ』フォトコンテスト2021」入賞作品決定!

令和3年10月1日～12月31日に実施した「第2回『東北のへそ』フォトコンテスト2021」へのたくさんのご応募、ありがとうございました。各地域の入賞作品をご紹介します!



山形県最上賞
野々村ため池
(山形県真室川町)
@recocafeurban さん撮影



山形県最上賞
ウッドトラス金山
(山形県金山町)
@yamagata_yuru_tabi さん撮影



秋田県雄勝賞
初丑まつり
(秋田県湯沢市)
@hayanoyuka さん撮影



宮城県大崎賞
鳴子峡
(宮城県大崎市)
@taka.aim.er20 さん撮影

現在は、『#東北のへそ』のついた投稿をリポストしてご紹介していますので、これからたくさんの『東北のへそ』地域の素敵な写真をお待ちしております。

また、写真に残る素敵な風景だけでなく、自然豊かな『東北のへそ』地域ならではの美食や名湯など、お楽しみは盛りだくさんです。コロナが落ち着きましたら、ぜひ、ご自身の足で、『東北のへそ』地域をじっくりと巡ってみてはいかがでしょうか。

[観光振興室 29-1312]

建設統計関係者の国土交通大臣表彰伝達式

国土交通省が実施する建設工事に関する基幹統計調査において、長年にわたる調査への協力など、その功績が顕著な事業者として株式会社新庄・鈴木・柴田組(新庄市)が国土交通大臣表彰を受賞しました。

基幹統計調査は、建設業者の受注動向等を把握することにより、各種の社会施策や企業の経営方針策定等に役立てることを目的として実施されており、今年度は全国で86社が受賞となりました。県内からは他に本間建設株式会社(尾花沢市)が受賞しております。

11月8日、最上総合支庁にて、その伝達式が執り行われ、最上総合支庁 竹内建設部長から株式会社新庄・鈴木・柴田組の吉田秀夫代表取締役へ感謝状が渡されました。
[建設総務課 29-1391]



令和3年度厚生労働大臣表彰受賞 おめでとうございます

下記の方々の地域への長年の功績が認められ、このたびの受賞となりましたので、ご紹介いたします。

精神保健福祉事業功労者(団体)

❀ 特定非営利活動法人 オープンハウスこんべいとう

20年にわたり、困難を有する若者に対する相談支援や居場所づくりなど、多大なる尽力をされました。また、自殺予防のための対策にも積極的に取り組み、公的機関と連携しながらきめ細やかな支援活動を展開されました。

食生活改善事業功労者(個人)

❀ 金山町食生活改善推進協議会 阿部勝子氏

ボランティアとして食生活を通じた健康づくりや食文化の次世代への継承に精力的に取り組まれました。また、地元の協議会の会長にとどまらず、最上地区協議会の副会長としての任を果たすなど地域の活性化に大きく貢献されました。

[地域保健福祉課 29-1267]

お知らせ

「山の日」展示リレーの実施について

令和4年8月10日(水)～11日(木・祝日「山の日」)に本県の蔵王において開催される第6回「山の日」全国大会に向け、県内の「山」に関する活動を広く県民の皆様にご覧いただき、大会成功への機運を盛り上げるため、総合支庁と市町村で巡回展示を行います。

日時：令和4年2月21日(月)～3月22日(火)

場所：最上総合支庁 1Fロビー

※市町村の展示スケジュール等詳細は大会特設ページをご覧ください。

[環境課 29-1284]



大会特設ページ
(HPやまがた山内)



大会公式
Facebookページ

箸づくりに参加してみませんか？

森林資源の実態を学びながら木工品の製作体験等を通じて「木とのふれあい」を促進するセミナーを開催します。(参加費無料)

日時：令和4年3月6日(日)

午後1時30分

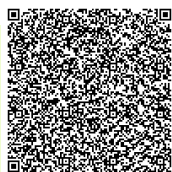
～午後4時30分

(午後1時受付開始)

場所：「ゆめりあ」2F会議室(新庄駅併設)

※切：令和4年2月22日(火)

詳しくはここから！



[森づくり推進室 29-1350]

企業経営に関する研修会を開催

企業の経営者や人事労務管理担当者を対象とした研修会『職場を活性するダイバーシティ経営～女性活躍が必要な理由～』を開催します。

Zoomによる参加ですので奮ってご参加願います。

日時：令和4年2月16日(水)

10:00～11:30

講師：伊藤 真知子氏

男女共同参画センター館長

申込：左記QRコードから申し込み願います

[子ども家庭支援課 29-1245]



**「自分は慣れているから大丈夫」と思わずに
万が一に備えてしっかり装備して、
安全に雪下ろしを行いましょ。**

1月12日、新庄市内のホームセンターほか6箇所において、雪害事故防止の街頭啓発活動を実施しました。

除雪や雪下ろし中の事故の発生は後を絶たず、屋根からの転落が多く占めるほか、最近ではハシゴの昇り降りの際の転落が目立ちます。また、高齢者の事故が最も多い状況となっています。

除雪や雪下ろしは、ヘルメット・命綱を着用する、足元や周囲の状況をよく確認する、近所の人に声がけするなど、安全対策を徹底して作業を行いましょ。また、二人以上で無理のない作業を心掛けましょ。



安全な雪下ろし作業 8つのポイント

気温が高い時は屋根の雪のゆるみに注意!	安全な服装で! 携帯電話も忘れずに
足場はいつも注意! 軒先は危険です。慎重に。	はしごはしっかり固定!
道具はスキルに合わせて。メンテナンスもしっかり!	作業は2人以上で!
体調管理は万全に!	高所作業(2m以上)では命綱は必須!

令和4年1月7日(金)~2月6日(日)は、雪害事故防止強化月間です

おじいちゃん! 雪下ろしは気をつけて!

「慣れているから大丈夫」など過信は禁物! 油断大敵!

過去5年の発生状況

雪害事故 534人	死亡事故 45人
65歳以上 356人	65歳以上 40人

65歳以上の高齢者の雪害事故が多発!

[総務課防災安全室 29-1209]

火気取扱いに御注意を!

冬の時期は石油ストーブなどの暖房器具を使うことが多くなる季節です。

冬場には欠かせない暖房器具ですが、使い方を誤ると建物火災や一酸化炭素中毒などの重大な事故を引き起こす原因になります。

- カーテンやふすまなどの燃えやすい物から離して使う
- スプレー缶、アルコール消毒液などを近くに置かない
- 換気を定期的に行う
- 点火したまま移動・給油しないなどの注意点をしっかり確認し、事故の防止に努めましょ。



[総務課防災安全室 29-1209]

安全なお風呂の入浴術

冬は入浴事故の多い季節です。特に、60歳以上の方に多く発生しています。入浴習慣を見直し、安全で快適なお風呂ライフを楽しみましょ。



安全に入浴するためのポイント

- ①入浴前に脱衣所や浴室を暖めておきましょ
温度の急激な変化により血圧が大きく変動するなど、身体に大きな負担がかかります。
- ②お湯の温度は41℃以下にしましょ
熱いお湯は急激に血圧を上昇させます。ぬるめのお湯にゆっくりつかることで、リラックス効果が高まります。
- ③あがる時はゆっくりと立ち上がり、立ちくらみなどによる転倒に注意しましょ。

[地域保健福祉課 29-1267]

第20回「最上を拓く高規格道路」建設促進合同大会

～高規格道路十字連携軸の整備促進に向けて～

【前回の開催の様子】

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、今年度は「書面開催」にて実施します。

□基調講演 角湯 克典 氏（国土交通省東北地方整備局企画部長）

「地域の発展を支える東北地方整備局の取り組み」

□意見発表

* 工藤 恵子 氏（新庄市 株式会社さくらプランニング）

「高速道路網と情報活用連携の可能性について」

* 出井 浩貴 氏（舟形町 フレッシュライフ株式会社）

「物流・観光面から見た未来への道」

* 横井 ゆき 氏（戸沢村 最上峡芭蕉ライン観光株式会社）

「山形県 最上地方さ 行がんなね」

□大会決議

[建設総務課 29-1391]



「とれいゆ つばさ」ラストラン

車内で足湯が楽しめる新幹線として、多くの方に親しまれている「とれいゆ つばさ」が2022年3月をもって引退となります。乗車記念ステッカーの配布や臨時列車の運行など、フィナーレに向けて、各種企画が進行中です。

約7年間の運行に感謝し、みんなで「とれいゆつばさ」を見送りたいと思います。

★ラストラン
3月27日(日)
8:48 新庄駅発予定

[観光振興室 29-1312]

—ありがとう—
とれいゆ つばさ



女性の健康週間

3月1日～8日は女性の健康週間です。女性には特有の健康課題があります。女性が生涯を通じて健康で明るく充実した日々を過ごすために大切なことをこの機会に、考えてみませんか。

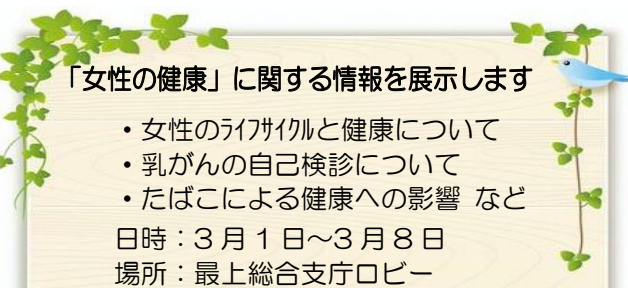
「女性の健康」に関する情報を展示します

- 女性のライフサイクルと健康について
- 乳がんの自己検診について
- たばこによる健康への影響 など

日時：3月1日～3月8日

場所：最上総合支庁ロビー

[地域保健福祉課 29-1267]



「感動をもう一度！」

東京2020オリンピック・パラリンピック 聖火リレーメモリアル展

6月6日～7日に県内で実施したオリンピック聖火リレー及び8月16日に開催したパラリンピック聖火フェスティバル集火式の模様を撮影した写真パネルやトーチ、ランタン、ユニフォームなどの展示を行います。

みなさまぜひお立ち寄りください。

日程：2月15日(火)～25日(金) 8:30～17:15

場所：最上総合支庁1階ロビー

[連携支援室 29-1239]

愛玩鳥を飼育されている方へ

愛玩鳥のうち、鶏、あひる（アイガモ、フランス鴨を含む）、うずら、きじ、ほろほろ鳥、だちょう、七面鳥を1羽でも飼育されている方は、飼育羽数等に関して県への定期報告が必要です。

今まで報告したことのない方は、ご連絡ください。



連絡先：最上総合支庁家畜保健衛生課
TEL：0233-29-1357

新型コロナウイルス感染症について

県内の 現在の注意・警戒レベルは 「レベル2[警戒]」です

[R4. 2. 8 現在]

オミクロン株の驚異的な感染スピードにより、県内では、1月に入ってから急激に感染者が増加し県内発生累計は7,000人を超えました。これまで、山形市と庄内地域全域を対象に、不要不急の外出の自粛や飲食店に対する時短要請などの重点措置を実施してきましたが、2月3日からは置賜地域（米沢市、高島町）に、2月9日からは天童市に重点措置区域を拡大し、対策を強化しています。

学校や保育所等でのクラスター発生など、感染拡大が続いており、このような状況が続けば保健医療提供体制の崩壊や、社会経済活動の停滞が危惧されます。引き続き、基本的な感染防止対策を徹底し、1日でも早く感染拡大を抑えるために下記のご協力をお願いします。

① 基本的な感染防止対策の徹底について

感染者からご家族に感染する事例が大変多くなっています。感染のリスクが『常に身の回りにある』という意識を持ち、不織布マスクの着用や、こまめな手洗い、消毒、ゼロ密（密閉・密集・密接のすべてを避ける）、適切な換気など、基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。ワクチンの効果は、時間が経過すると低下してきますので、ワクチン接種後も、引き続き感染防止対策をお願いします。

② 外出・移動について

感染拡大地域や重点措置区域への不要不急の外出は控えてください（ビジネス、通学、通院、受験等は除く）。県外に移動するときは、移動先の感染状況の把握に努め、基本的な感染防止対策の徹底や、事前・事後に無料のPCR検査を活用するなど、「うつらない」、「うつさない」行動を心がけましょう。

③ 飲食店の利用について

会食は都道府県の認証施設など感染防止対策が講じられた施設で、なるべく1テーブル4人以下で利用し、会話時はマスクを着用しましょう。

④ 体調が悪い場合の対応について

普段から検温や健康観察を行い、発熱・咳・のどの痛みなど、少しでも体調が悪い場合は外出や移動を控えてください。受診する場合は事前に医療機関に連絡し、受診の方法を確認してください。

検査や受診についての相談はかかりつけの医療機関や市町村相談窓口、または山形県受診相談センター（フリーダイヤル 0120-88-0006 24時間）に電話でご相談ください。体調がすぐれない場合はくれぐれも無理をせず、早めに対応しましょう。

※3回目のワクチン接種が始まっています。接種の予約や接種券の発行に関することはお住まいの市町村窓口へお問い合わせください。その他のワクチンに関する一般的な内容については、ワクチンコールセンター（フリーダイヤル 0120-567-690 8:30~18:00）へご相談ください。

[地域保健福祉課：29-1268]



発行日：令和4年2月8日

発行元：山形県最上総合支庁総務企画部総務課

総合案内窓口

電話：0233-29-1360 FAX：0233-23-2605



Twitter



HP

